

NIFS リポジトリについて

現在、学術出版におけるオープンアクセスの議論が盛んになっている中で、研究を実施した研究機関（論文著者）が、自分の研究成果について発信する権利が見直されています。現在のように、インターネットを使って簡単に情報を国際的に発信できる状況になる以前は、学術情報の国際的発信のためには、大手の出版社による学術出版が情報発信の主要な手段となっていました。国際的出版のためには、出版物の作成から配布ルートの整備に至るまでの「設備投資」が必要なため、近年雑誌購読料の値上がりが続いています。さらに出版社の独占的に公開する権利を守る目的で「出版社の権利」が確立されてきました。

一方、近年の学術出版の経費の著しい高騰が一つの契機となって、研究者本人による学術成果発表の権利について議論されるようになり、また研究費の出資者（研究助成団体）からの要請もあって、機関リポジトリによる研究成果の公開が可能になりました。核融合科学研究所でも、学術情報係が主体となり NIFS リポジトリ^(※1)が研究所の研究成果の情報発信を行なっています。

研究所の発表論文の多くは、出版社に投稿された論文ですが、出版者が公開した論文情報（online の論文ページ）には今でも「著作権」が存在します。研究機関が独自に公開できる内容は研究成果の「中身」であって、実態としては出版社に提出された最終原稿の体裁となります。従って、機関リポジトリとして公開する情報は、研究者自身で用意する必要があります。

核融合科学研究所は、研究所の研究成果を社会に公開するという、オープンアクセスの基本方針^(※2)をとっています。NAIS に論文を登録する際は、その内容を原則として機関リポジトリで公開して頂きますようお願いいたします。そのため NAIS の登録完了の register の際には、出版者に提出した最終原稿^(※3)を upload して頂くようお願いいたします。

NAIS でのリポジトリ用原稿の upload は、最初の一回のみです。機関リポジトリ用の原稿は、上記の注意点を考慮して用意されると思いますが、さらに修正等が必要になる場合があります。その場合は NIFS リポジトリ担当の学術情報係^(※4)と直接相談して頂き、適切な原稿を準備して頂くようお願いいたします。

(※1) NIFS リポジトリ → <https://nifs-repository.repo.nii.ac.jp/>

(※2)核融合科学研究所

オープンアクセス基本方針→<https://reso.nifs.ac.jp/nais/openaccess.pdf>

(※3)コンテンツ登録方法→https://nifs-repository.repo.nii.ac.jp/?page_id=45

(※4)核融合科学研究所学術機関リポジトリ担当：研究支援課学術情報係

メールアドレス：tosho@nifs.ac.jp

電話番号：0572-58-2066

研究力強化戦略室